



神楽苑が営業収益増で市に寄付

道の駅「波野」にある物産館『神楽苑』が、平成19年度の売り上げが好調だったとして、収益金の一部200万円を阿蘇市へ寄付しました。『神楽苑』は、直販所、レストラン、そば体験場などからなる施設で、昨年度は35万人（レジカウント）が訪れました。古澤新一支配人は「直販所で野菜、惣菜、そば製品がよく売れ、レストランもよく入った。出品会員それぞれの努力のおかげ。知名度も上がってきた」と、大分県と熊本県の境という立地条件のもと、さらに特色ある物産館づくりに努めたいとのこと。

地域の手で「笠園川」に環境看板設置

かさそのかわ

宮地を流れる「笠園川」とその周辺の美化活動に取り組む、町2区（山部公望区長）の有志の皆さんが、美しい地域づくりのシンボルとして「～ホタルの生まれる清流～笠園川」と書いた看板を立てました。看板は杉とケヤキの廃木を利用した屋根付きの看板で、文字は山部区長の手彫りです。

「笠園川は毎年ホタルが発生する水の美しい川で、さらに周辺の美化を行えばまち中の癒スポットになる」と山部区長。町2区では今後も川のゴミ拾いや草刈りを継続するほか、ホタルのエサ「カワニナ」を放流し「ホタルの生まれる里」として子どもたちに継承していきます。



▲看板設置作業の様子。

わんぱく相撲全国大会に3人が出場



▲佐藤吉一君



▲山部智輝君



▲轟林拓哉君

阿蘇青年会議所主催、第7回わんぱく相撲全国大会予選・第2回わんぱく親善相撲大会が、5月25日、古城小学校相撲場で開催され、本市の小学生が熱戦を繰り広げました。

佐藤吉一君、山部智輝君、轟林拓哉君の3人は、8月3日、東京の両国国技館で開催される全国大会に出場します。

わんぱく相撲全国大会予選優勝者

1年の部	荒木 誠 (山田)
2年の部	廣瀬 達貴 (山田)
3年の部	中西 勇成 (山田)
4年の部	佐藤 吉一 (坂梨)
5年の部	山部 智輝 (碧水)
6年の部	轟林 拓哉 (碧水)

わんぱく親善相撲大会優勝者

1年の部	渡邊 春樹 (坂梨)
2年の部	廣瀬 達貴 (山田)
3年の部	吉田 祥太 (坂梨)
4年の部	佐藤 吉一 (坂梨)
5年の部	碓 峻介 (坂梨)
6年の部	岩下 未佳 (山田)
団体の部	低学年 山田Bチーム
	高学年 内牧チーム

五輪マラソン出場選手が合宿

北京オリンピックで男子マラソンに出場する大崎悟史選手（32歳）が、所属するNTT西日本陸上部（清水康次監督、本社大阪市）とともに本市で合宿（6月1日～7日）し、本番に向けた調整をあびか陸上競技場、阿蘇観光牧場クロスカントリーコースなどで行いました。同部の阿蘇市での合宿は3年目で、「阿蘇市は大好きな所です」と大崎選手。オリンピックでの抱負を「出るからには金メダルを目指します」と語ってくれました。男子マラソンは日本時間で8月24日、午前8時半スタートです。



▲大崎悟史選手